

VII 下水道經營分析

1 岐阜市下水道事業業務実績表

令和6年3月31日

項 目		本 年 度	前々年度	前年度に 対する比率	す う 勢 比 率		備 考
			前 年 度		本 年 度	前 年 度	
行政区域内人口		399,492 人	402,965 人	99.6	99.1	99.6	年度末現在推計市内人口
			401,294 人				
処理区域内人口		376,080 人	379,200 人	99.5	99.2	99.6	年度末現在
			377,800 人				
水洗化人口		327,380 人	328,930 人	99.8	99.5	99.7	年度末現在 （水洗便所設置済人口）
			327,980 人				
普及率		94.1 %	94.1 %	100.0	100.0	100.0	処理区域内人口 / 行政区域内人口
			94.1 %				
水洗化率（人口）		87.1 %	86.7 %	100.3	100.5	100.1	水洗化人口 / 処理区域内人口
			86.8 %				
処理区域内戸数		192,230 戸	189,010 戸	100.8	101.7	100.9	年度末現在
			190,790 戸				
水洗化戸数		166,338 戸	163,165 戸	101.1	101.9	100.8	年度末現在
			164,506 戸				
水洗化率（戸数）		86.5 %	86.3 %	100.3	100.2	99.9	水洗化戸数 / 処理区域内戸数
			86.2 %				
下水管総延長		2,300.3 km	2,292.0 km	100.1	100.4	100.2	
			2,297.0 km				
内 訳	汚水管	2,256.7 km	2,248.8 km	100.1	100.4	100.2	
			2,253.5 km				
	雨水管	43.6 km	43.2 km	100.2	100.9	100.7	
			43.5 km				
業 務	年間総処理水量	44,706,465 m³	45,428,707 m³	99.9	98.4	98.5	単独公共下水道のみ
			44,760,891 m³				
	一日最大処理水量	142,857 m³	131,729 m³	106.1	108.4	102.2	単独公共下水道のみ
			134,595 m³				
一日平均処理水量	110,435 m³	110,883 m³	100.8	99.6	98.8	単独公共下水道のみ	
		109,516 m³					
流域関連公共下水道 総処理水量		11,402,385 m³	11,502,046 m³	101.1	99.1	98.0	浄化センター流入汚水量
			11,275,390 m³				
年間総有収水量		42,232,482 m³	43,406,105 m³	98.4	97.3	98.9	
			42,933,385 m³				
有収率		75.3 %	76.2 %	98.3	98.8	100.5	年間総有収水量 / 年間総処理水量
			76.6 %				
職員数		93 人	96 人	101.1	96.9	95.8	年度末現在 （臨時職員を除く）
			92 人				
1 m³あたり使用料単価		137.2 円	136.8 円	99.9	100.3	100.4	下水料金 / 年間総有収水量
			137.3 円				
1 m³あたり汚水処理原価		127.9 円	127.5 円	99.1	100.3	101.2	汚水処理費 / 年間総有収水量
			129.0 円				

注1 すう勢比率は令和3年度を基準年度とする。

2 下水道事業主要経営比率

(1) 令和元～5年度の推移

年 度 項 目	岐阜市					全 国 平 均(公 共 下 水 道)		
	元 年 度	2 年 度	3 年 度	4 年 度	5 年 度	法 適 企 業	法 非 適 企 業	合 計
						933事業所	255事業所	1,188事業所
項 目	元 年 度	2 年 度	3 年 度	4 年 度	5 年 度	4 年 度	4 年 度	4 年 度
行政区域内人口 (人)	408,109	406,407	402,965	401,294	399,492	126,599	12,970	102,209
全体計画人口 (人)	387,140	377,640	378,360	378,360	378,360	105,813	8,876	85,006
現在水洗便所設置済人口 (人)	330,630	329,740	328,930	327,980	327,380	98,524	6,204	78,708
現在処理区域内人口 (人)	382,890	381,770	379,200	377,800	376,080	102,611	7,261	82,144
普及率 (%)	93.8	93.9	94.1	94.1	94.1	81.1	56.0	80.4
水洗化率 (%)	86.4	86.4	86.7	86.8	87.1	96.0	85.5	95.8
下水管布設延長 (km)	2,282	2,287	2,292	2,297	2,300	454	65	370
汚水管 (km)	2,239	2,244	2,249	2,254	2,257	331	60	273
雨水管 (km)	43	43	43	43	43	56	5	45
合流管 (km)	0	0	0	0	0	66	0	52
*現在晴天時処理能力 (m ³ /日)	170,600	170,600	170,600	168,100	168,100	39,938	2,370	31,874
*現在晴天時平均処理水量 (m ³ /日)	118,010	113,263	110,882	109,516	110,435	24,410	1,207	19,429
*終末処理場施設利用率 (%)	69.2	66.4	65.0	65.2	65.7	61.1	50.9	61.0
年間総処理水量(汚水分) (千m ³)	57,394	58,629	56,931	56,036	56,109	13,490	832	10,773
年間総有収水量 (千m ³)	44,092	43,985	43,406	42,933	42,232	10,948	704	8,749
有収率 (%)	76.8	75.0	76.2	76.6	75.3	81.2	84.6	81.9
職員1人当りの汚水処理水量 (千m ³)	797	690	647	659	645	765	486	705
使用料単価 (円/m ³)	122.55	134.23	136.81	137.29	137.25	134.37	159.87	139.84
処理原価 (円/m ³)	123.40	121.53	127.53	129.01	127.94	136.77	215.76	153.72
内維持管理費分 (円/m ³)	64.16	63.29	69.36	72.25	70.16	75.72	147.35	91.10
内資本費分 (円/m ³)	59.24	58.24	58.17	56.76	57.78	61.05	68.42	62.63
汚水処理費に対する使用料割合 (%)	99.31	110.45	107.28	106.41	107.28	98.24	74.10	93.06
内維持管理費汚水処理費割合 (%)	191.00	212.10	197.25	190.01	195.62	177.45	108.50	162.65
固定資産対長期資本比率 (%)	101.4	101.6	101.6	102.2	102.2	101.2	—	—
企業債元金償還金対料金収入比率 (%)	66.4	61.2	60.4	60.0	58.9	90.3	—	—
企業債利息対料金収入比率 (%)	18.6	15.4	13.9	12.6	11.8	15.3	—	—
企業債元利償還金対料金収入比率 (%)	84.9	76.6	74.3	72.6	70.8	105.6	—	—
職員給与費対料金収入比率 (%)	12.3	11.2	11.7	10.0	10.3	8.9	—	—

注 (1) 決算統計による数値により算出。

注 (2) * 印の項目については単独公共下水道のみの数値。

(2) 下水道事業の主要経営比率の算出方法

$$\text{① 普及率} \quad (\%) = \frac{\text{現在処理区域内人口}}{\text{行政区域内人口}} \times 100$$

$$\text{② 水洗化率} \quad (\%) = \frac{\text{現在水洗便所設置済人口}}{\text{現在処理区域内人口}} \times 100$$

$$\text{③ 終末処理場施設利用率} \quad (\%) = \frac{\text{現在晴天時平均処理水量 (m}^3\text{/日)}}{\text{現在晴天時処理能力 (m}^3\text{/日)}} \times 100$$

※単独公共下水道のみ

$$\text{④ 有収率} \quad (\%) = \frac{\text{年間総有収水量}}{\text{年間総処理水量}} \times 100$$

$$\text{⑤ 使用料単価} \quad (\text{1m}^3\text{当たり円}) = \frac{\text{年間総有収水量}}{\text{年間総有収水量}} \times \text{料金}$$

$$\text{⑥ 処理原価} \quad (\text{1m}^3\text{当たり円}) = \frac{\text{年間総有収水量}}{\text{年間総有収水量}} \times \text{費用}$$

$$\text{⑦ 固定資産対長期資本比率} \quad (\%) = \frac{\text{固定資産}}{\text{資本金+剰余金+固定負債+繰延収益}} \times 100$$

$$\text{⑧ 企業債元金償還金対料金収入比率} \quad (\%) = \frac{\text{建設改良のための企業債元金償還金}}{\text{下水料金}} \times 100$$

※建設改良のための企業債元金償還金の内特定資金公共事業費を除く

$$\text{⑨ 企業債利息対料金収入比率} \quad (\%) = \frac{\text{企業債利息}}{\text{下水料金}} \times 100$$

$$\text{⑩ 企業債元利償還金対料金収入比率} \quad (\%) = \frac{\text{建設改良のための企業債元利償還金}}{\text{下水料金}} \times 100$$

※建設改良のための企業債元金償還金の内特定資金公共事業費を除く

$$\text{⑪ 職員給与費対料金収入比率} \quad (\%) = \frac{\text{職員給与費}}{\text{下水料金}} \times 100$$

